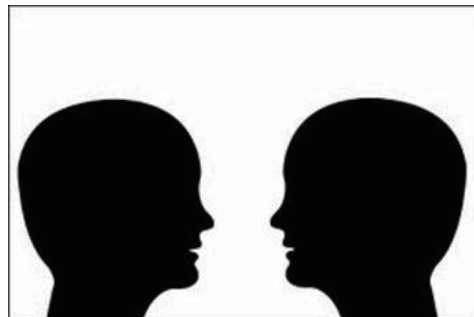


研究概要

「チームによるプロジェクト活動」を行なう 学生の評価方法の構築

小中高等学校における「総合的な学習の時間」と大学工学部に置ける「創成科目」等、近年チームでプロジェクト活動を行う授業科目が展開され始めている。しかし、教師は担当するチーム数が増えるに従いチーム内での個人の活動状況の詳細を把握することは難しくなり、さらに個人の活動を偏り無く評価する事は容易では無い。

本研究では、チームでプロジェクト活動を行う個々の学生を適切に評価する方法の構築を目指し、客観的に観測できる個人行動に基づいた成績評価方法が構築出来ないかの検討を行う。その際、広く普及している、あるいは学校設備として準備できる範囲の設備・環境で、且つ少ない人員や手間で実施可能なものを検討する。



一つに、教師・学生・社会人らの主観評価の数値化手法を検討する。他方で、授業中や教師との打合せ時における個々の学生の行動を、例えば質問や返答あるいは教師との視線の一致等を、記録し分析する手法を検討する。

今後の展開やメッセージ

客観的に観測できる個々の学生の行動に基づいた、第三者から見ても妥当でありかつ教師・学生の両者が納得出来る評価方法の構築の可能性を調査・検討し、試行を行い、本研究の有効性を確認して行きたいと考えております。本研究にご興味がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

研究者情報



松本 重男 教授・博士(工学)

基礎教育部 基礎実技教育課程

金沢大学工学部機械工学科卒。同大学大学院工学研究科修士課程(機械工学)修了。日本ドーバー(株)入社。富山職業能力開発短期大学校講師。1995年～1996年スタンフォード大学客員研究員。1996年本学助教教授就任。2000年現職。

研究者情報URL

<http://kitnet10.kanazawa-it.ac.jp/researcherdb/researcher/RJFAEE.html>

Keyword

教育工学 / 科学教育 / 教育学